

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		今後も今まで同様、地域交流を行って行きたい。オーナー様の施設と共同で福祉フェスタを年1回行う。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		今後も理念を共有できるような介護体制を築いていく。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		地域の方も気軽に参加できるよう支援を行って行きたい。
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		子供たちとの交流も楽しみにしている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		今後お話を頂ければ、参加していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>電話相談や見学等があった際は、可能な限り相談に応じている。</p>		<p>見学対応の際は、常勤、非常勤に関わりなく対応出来る様にしている。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>消防署の指導後、避難場所に置いてあった職員ロッカーを3階に移動し、避難場所を確保した。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において、ホームでの日常の取り組み等を報告している。</p>		<p>会議に参加できない方のために意見箱等を用意し、良いホーム作りの参考としたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所内の包括支援センター管理者に許可を得て、ホームのパンフレットを置かせてもらっている。</p>		<p>蓮田市介護保険課の方が月1回ホームを訪問し、利用者様の様子を確認しており、年2回の連絡会にて報告している。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>相談したことはあるが、具体的な結果には結びつかなかった。</p>		<p>社会福祉協議会の安心サポートを利用している方がいる。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>各利用者様のペースに合わせた無理のないケアを心がけている。</p>		<p>事例を取り入れながら、職員間で検討している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は契約内容を十分に説明し、質問に対してはその都度返答しご理解いただくよう努めている。</p>	<p>入居後生活に慣れてから見えてくる事が多い為、随時状況説明出来るようにして行く。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の意見や不満等に耳を傾け、改善できるよう会議等で検討を行っている。</p>	<p>利用者様に寄り添ったケアが出来るよう努めていく。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>些細な事でも連絡を取り、状況をお知らせしている。毎月初めに手紙を郵送し、近況報告、収支報告をしている。</p>	<p>安心と信頼を得られるホーム運営に力を入れて行きたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員会議、フロア会議、サービス担当者会議時に家族の意見を取り入れ、話し合いをしている。</p>	<p>利用者様本位のケアをして行きたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員からの意見が出やすいように、日頃から関係を大切にしている。</p>	<p>職員同士、遠慮なく活発に意見交換できる環境を作って行きたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の理解を得た上、緊急時には協力体制が取れるようにしている。</p>	<p>職員の負担にならないよう、協力体制を築いて行きたい。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者様には他の施設に勉強しに行く等と説明し、不安感を与えないように配慮している。</p>	<p>職場の環境を改善し、働きやすい職場作りをして行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内で行う研修にはなるべく参加し、質の良いケアの提供に努めている。	個人の能力に見合った研修参加に協力している。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同系列の施設間での交流会は開催しており、利用者様同士の交流を企画している。社内ではフロア長研修を行い、交流を図っている。また、近隣の施設との交流も計画している。	交流により、互いの良い部分を取り入れて行きたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	シフト調整で可能な限り連休を取れるようにしている。また、職員間での忘年会や新年会等を企画し、ストレス解消に努めている。	何でも話し合える環境を作って行きたい。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	得意な分野を活かせる声かけや企画を提供している。	個々の職員が、最大限に特技を活かせる柔軟なケアに努めている。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	実態調査時に必ず本人と直接話をし、なるべく訴えを聞くようにする。家族の声も大切にし、慎重な対応を心がけるようにしている。	
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族とよく相談し、今何が問題なのかを把握している。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	調査を元に、ニーズに即した初回プランを作成する。		ホームでの生活を安心して過ごせるような環境の提供をしていく。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者様の生活ペースに合わせ様子を見ながら、ケアカンファレンス時に必要であればプランの見直しを図っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護を行う際は、利用者様本位の対応を心がけている。日常の出来事の中で教えられ、学ぶ事もある。		利用者様が、男性職員に掃除の仕方やご飯の盛り付け方を指導して下さる。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月書面にて近況報告をし、面会時にはその都度相談させていただいている。また、病院受診の際は、同行のご協力をお願いしている。		受診には出来るだけ日頃対応している職員が付き添い、ご家族の負担を軽くしていきたい。ご利用者様との橋渡し役となれるよう対応したい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	離れて生活することにより絆が深まる場合もあるため、個々の家族との関係に配慮している。		落ち着いた日常生活の報告だけでなく、不穏時の様子もお伝えし、ご家族様の現状も把握しながら支援の方法と一緒に検討し、近い関係で居られる様な環境を築いていきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人との面会や、馴染みの床屋に通うことで近隣との関係を良好にしている。		近隣の床屋と馴染みとなり、店主が通っている三味線教室の方々がホームにボランティアで来ていただいている。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様や職員を家族のように感じている方もおり、良好な環境作りに努めている。		近過ぎてトラブルにならない様、見守って行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後も、ご迷惑にならない程度でご様子を伺う事も有る。		退居支援時にはトラブルにならない様十分に注意し、良好な関係が続くようにしたい。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	必ず利用者様本人より意向を伺い、それに添ったプラン作成に努めている。		意思表示の難しい方の対応法や支援体制を検討して行きたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活に近い状況を取り入れ、ご家族様の協力と生活歴を参考にしながらケアに活かしている。		長年の習慣や生活を理解し、尊重して行きたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の生活記録にその都度記入し、職員間で申し送りを行っている。		利用者様の小さな変化にも対応出来るようなチームケアに努めて行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様やご家族様の意向を十分に活かしたケアが出来るようにサービス担当者会議を開催し、話し合いの場を大切にしている。		利用者様が生きがいを感じて生活して行ける様に前向きなケアプランの作成に取り組んで行きたい。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者様の状態に変化が有った際には、サービス担当者会議を開催し、ケアプランの見直しと作成を行っている。		今後も同様、利用者様に添ったケアが出来るよう話し合いを続けて行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	些細な事も生活記録に記入するようにしている。		個々のケアプランを理解し、日々のケアに活用するようにして行く。見直されたプランに随時対応して行く様努力したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ADL低下により一般浴が困難になった際は、併設の特定施設と相談し、特浴を使えるような関係を築いて行く。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近隣の三味線ボランティアを招き、利用者様には楽しいひと時を過ごしていただいた。また、年2回の避難訓練には可能な限り消防署の方への協力を要請している。		今後も地域交流を積極的に行っていきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	希望者には月2回のシニアセラピーを提供している。男性の利用者様にも希望者があり、評判も良い。		市内の将棋同好会等への参加や、公共施設を使ってのカラオケや運動も出来るよう努めたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	相談したことはあるが、具体的な結果には結びついていない。		社会福祉協議会の安心サポートを利用している。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居契約時にかかりつけ医の説明をし、月2回の訪問診療を行っている。利用者様の状態によっては紹介状を作成し、他医療機関への受診も可能である。		早めの対応と、主治医との良好な関係を一層深めて行ける様努力したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣の精神科専門医との連携が取れており、必要時にはご家族様のご協力をいただいた上で受診が可能である。		緊急時にはドクターと連絡を取り、指示を仰いでいる。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週一回、医療連携加算の看護師が訪問し健康管理を行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ご家族様と連絡を取り合い、状態の確認や把握を行っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族様の意向を伺い、職員会議等で検討。職員間で共有しケアに取り組む様対応している。		ターミナルケアについて具体的に話し合う機会を増やして行きたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族様の意向や主治医の意見を職員間で話し合い、出来る範囲での対応をしている。		利用者様の状態観察を行いつつ、ADLの低下や体調の変化を予測しながらケアを行い、主治医との連携を図って行きたい。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	介護連絡票を作成し、情報提供に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々のプライバシーを尊重し、言葉がけには十分注意を払っている。また、面会者には面会簿の記入をお願いしている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>個々に合わせた伝え方で説明をし、納得いただけるよう努力している。</p>	<p>利用者様の言葉を傾聴し、気持ちを理解するように努めたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様の訴えを良く聴くように対応している。</p>	<p>個々のペースを大切にし、日常生活の中で自己決定出来るような支援をしていきたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>男性の利用者様は近隣の床屋に数人で外出し、付き添いの職員も男性で対応している。</p>	<p>コミュニケーションの難しい利用者様の希望にも対応できるようにしたい。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>個々の食事ペースが違うが、なるべく皆さんが食べ終わるまでは席居ていただくように声かけをしている。</p>	<p>配膳の準備、お皿拭き等、負担にならない様対応したい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>ドクターの許可があれば、飲酒の承諾をしている。喫煙に関しては喫煙所が無い為、禁止している。</p>	<p>お酒の管理は職員が事務所にて行っている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄パターンを把握し、オムツ使用の方も出来る限りトイレで排泄出来るよう、誘導を行っている。</p>		<p>誘導時もさりげなく声がけするよう努めている。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者様の希望に添った時間やタイミングを考えながら対応している。</p>		<p>希望が有ってもバイタルに異常がある際は、入浴を控えていただいている。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>睡眠のパターンを観察し、気持ちよく入眠出来るよう支援している。</p>		<p>日中になるべく体を動かすよう対応して行く。</p>
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>家事の得意な利用者様には勿論、園芸のお好きな方には花壇の水やりや植え替え等をお願いしている。</p>		<p>冬季にも可能な室内園芸を考えて行きたい。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>男性の利用者様は、多くの方が入居後ご自分で金銭管理をしている。ご家族様とも相談し、補充した時にはお知らせいただく様にしている。</p>		<p>洗濯や更衣の際は必ず財布を出していただき、洗濯物に紛れないように注意する。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>少人数にて個別対応をしている。</p>		<p>事故の無いよう安全な外出支援をして行きたい。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>ご家族様との外出予定が有る時は準備の声がけをしている。突然の来訪にもその都度対応している。</p>		<p>ご家族様との時間を大切にさせていただきたい為、外出や面会時は優先的に対応している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様が希望された際は、ホームの電話を使っていたりしている。		手紙等の投函のお手伝いをしている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	知人や友人の訪問の際には、事前にご家族様に情報を確認し対応している。		生命保険等の書き換えや変更時には、必ずご家族様に同席をお願いしている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進運動を、書面にて食堂入り口に掲示している。		ご家族様の面会時に、見易い所に掲示している。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関を出るとすぐ道路が有り交通量が多い為、ご家族様のご理解をいただいた上で鍵を設置している。		窓には防犯用の開閉式ストッパーを取り付けている。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご様子を見ながら危険予測を行い、安全に気を配っている。居室にて過ごされる方にも定期的に声がけをしている。		歩行の不安定な方は勿論、自立の方の行動時にも注意を払う。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	各個人の薬は、鍵の付いているキャビネットで管理を行っている。		今後も同様、管理を徹底して行く。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒事故を防ぐ為、利用者様の身体状況を把握し、障害物等に気を付けている。		危険物の管理同様、誤薬防止の為服薬管理の徹底を行う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	安全対策会議や研修会、職員会議等での勉強会を行っている。		実際の救急時に落ち着いた対応が出来るよう心がける。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防訓練を行っている。その際は、消防署の方にもご協力いただいている。		今年はオーナー様や系列の施設と合同で訓練を行った。今後も継続して行きたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個々の状態に応じてホームの生活を楽しんでいただく様、ご家族様とも相談し協力をお願いしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	夜間や起床時の様子の変化や午前と午後のバイタル測定の結果を元に、利用者様の訴え等異常が見られた場合には主治医との連携を図り、状態に応じて通院を行っている。		些細な変化を見逃さず、早めの受診を行う。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員には必ず、処方箋を確認するよう徹底している。		なるべく体を動かしていただく様運動量を検討し、薬に頼らない生活を支援して行く。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操を取り入れたり、定期的な水分補給やおやつにサツマイモを提供する等し、便秘予防を行っている。		運動量の少ない方には、腹部マッサージ等も行って行く。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	月2回の歯科医師による訪問診療と、月4回の口腔衛生士による口腔ケアを行っている。		毎食後に介護職員による口腔ケアを行っている。義歯の方にも引き続き、個々に合わせた対応を行いたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を表記して情報共有し、食事時の声かけや介助を行っている。		季節の変化に注意し、夏場や乾燥時には特に注意する。外出時の水分補給はこまめに行いたい。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防接種は毎年実施しており、安全対策委員会等で感染症の知識や予防対策についての研修を行っている。		職員も同様、予防接種を実施している。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	箸やスプーンは毎食後、消毒を行っている。また、布巾等も毎晩消毒液に浸している。		ご家族様の持ち込まれた食品は、賞味期限に注意して提供する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	エントランスには季節感を取り入れた飾りや花を工夫し置いている。		来客に不快感を与えないよう気配りしたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアの食堂にソファを置き、思い思いの時間を過ごしていただいている。		足を伸ばして座れる環境作りを検討したい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファにてコーヒーを飲みながら寛いでいただいている。		共用部分には独りで寛げる場所が無く、今後工夫して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が長年使い慣れた物や大切な物を居室に持ち込み、そせらに囲まれて生活できるよう対応している。		茶碗や湯飲みは入居時に使い慣れたものをなるべく持ち込んでいただく様にしている。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的な換気を努めている。		利用者様の不在時に居室の換気を行う等工夫する。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内の要所要所に手すりを設置しており、安全対策に努めている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者様の意見を取り入れ、環境作りを図っている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホームの入り口で、利用者様と一緒に花を育てている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご家族様の面会が少ない方が多く、職員が家族の様な気持ちで対応している。自立している方も多いので、人として、人生の先輩として沢山の事を学ばせていただきながらの生活支援を心がけて行きたい。